

Kindergarten Information Development Society

東京都私立幼稚園連合会

編集発行人 北條泰雅 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館 TEL03(3262)3666・FAX03(3264)6195

全日私幼連では、被災地の復興を願い義捐金活動に特に力を入れておりましたが、5月25日の総会で、活動概要、災害対策費の執行及び義捐金の一部執行について報告がありました。

全日私幼連から第1次義捐金として、集まった4億5000万余円の義捐金のうち2億5330万円を執行しました。

義捐金拠出状況（5/25現在）			
県別 第一次義捐金			
岩手県	25,700,000	千葉県	24,200,000
宮城県	94,000,000	神奈川県	3,000,000
福島県	50,400,000	群馬県	100,000
山形県	500,000	埼玉県	900,000
茨城県	34,800,000	静岡県	1,200,000
栃木県	18,500,000	合 計	253,300,000

都私幼連では加盟園の皆様のご協力により、5月25日現在で2200万余円の義捐金が集まりました。復興には長期の期間がかかる事を想定し、引き続き年内は義捐金を受け付けておりますのでご協力下さい。

送金先

三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店
口座No. 普通預金 1355535
口座名 東京都私立幼稚園連合会
トウキョウトシリツヨウチエンレンゴウカイ
事務局長 関 正子
ジムキヨクチヨウ セキ マサコ

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。大震災後、われわれ都私幼連加盟店園が被災に遭われたお仲間の幼稚園に対して、どのようにして協力ができるか。また、各園では避難方法などを改めて考えておられると思います。被災地にはたくさんボランティアの手が差し延べられていますが、都私幼連の仲間の先生方もボランティア活動をしていると聞き、早速、座談会形式で広報委員の皆さんとお話を伺つてみました。もし東京に大地震が来たらと考えると恐ろしくなります。絶対に来ないという保証はありません。私たちは幼い子どもたちの命を預かっていますので、各園で、また各地域で話し合いのきっかけになればと思います。

座談会

「ボランティア」に参加して

【座談会参加者】

當麻祐紀先生(仰願寺幼稚園・台東区)
白井正勝先生(三鷹双葉幼稚園・三鷹市)
望月稔也先生(江戸川にざくら幼稚園・江戸川区)
安藤恵子先生(西荻まこと幼稚園・杉並区)
菅原 創先生(江戸川双葉幼稚園・江戸川区)

當 麻 私は、大学時代に環境ボランティアをしていました。でも全国に仲間がたくさんいます。その仲間である後輩から「現地に来て欲しい」と電話で要請があったので、とりあえず宮城県・石巻市のボランティアセンターに入りました。



して参加された動機について伺いたいと思います。

私は、大学時代に環境ボランティアをしていました。でも全国に仲間がたくさんいます。その仲間である後輩から「現地に来て欲しい」と電話で要請があったので、とりあえず宮城県・石巻市のボランティアセンターに入りました。

ボランティアに
参加した動機

——3月11日の巨大地震、大津波、そして原発事故。東日本を襲った災害は、私たち人類への挑戦でもあるかのように大きな課題と爪痕を残して行きました。

それぞれの被災地へは各地から大勢の人たちが駆けつけて支援活動を続けておられます。ここにお集まり頂いた先生方も被災地に赴き、支援活動をされたとお聞きしています。はじめに、ボランティアと

月4日だったた。たしか4月4日だつたと思います。石巻市の大街道という町で、日本財団のチームと一緒にダンプカーで瓦礫や車の撤去などを手伝つてきました。



に行うことになり、3月26日から五日間参加しました。幼稚園はちょうど春休みでしたし、一般企業では休みも取れないだろうから現地では人手が足りないのではないかと思つたのと、初めてでしかも個人的な参加ではありましたが、何か手伝えることがあるのではないか、そう思つて参加したのです。僕は、個人宅の家財の搬出などの手伝いをしました。



大震災時の被災者です。まだ学生でしたが、暗闇の中で瓦礫に埋もれ、あちこちで火の手が上がる中をどうにか生き残った一人です。近隣では学生だけで14人が亡くなりました。助けたくてもどうにもならず、今もその悔しさ悲しさを引きずっています。

今回の大惨事を見て、居ても立つても居られず、震災のあった翌日に家にあつた備蓄用の水などを車に積み込んで「行けるところまで行こう」と飛び出しました。しかし、帰宅する人たちの渋滞と、途中でのガス欠が心配になつて仕方なく引き返しました。お笑い草ですが、その時は夢中でしたので。

翌週になつて、千葉県の旭市でボランティアセンターが立ち上がつたというので仲間たちとそこまで行つて瓦礫のは、南三陸には親族がいますので気がかりでしたが、どうやら避難所にいるという情報を得ましたので、旭市でまづ



白井 私は地元のボランティア団体で長をしておりまして、震災があつた二日後から三鷹市と協力して支援物資の収集作業を開始しました。そうして集まつた物資を被災地に届けるため、4月2日の時は石巻市に支援物資を届け、連休には南三陸町に物資を届けてきました。

最初に行つた石巻では行政が全く機能しておらず、市の職員さえ何處にいるのか見当がつきません。物資を持ったまま、炊き出しを手伝うくらいが精一杯の仕事でした。

——先生方のボランティア精神には心から敬服します。被災地での作業は大変だったと思われますが、具体的にはどのような活動をされましたか？

また、現地の状況、子どもたちとはどのような関わりを持ったのか、その辺りも含めてお聞かせください。



被災地では
こんな活動をしました

時点では、子どもと触れ合えるような状況ではありませんでした。とりあえず石巻市の中学校と幼稚園を訪ねたのですが、子どもたちも何名か亡くなつてごつた返している状況でしたから。

同じ東京のボランティア団体が3月に2回合計130トンほどの物資を積んで被災地に届けました。私たちは別便で60トンくらいの物資を運びました。しかし、被災地によつてニーズが違つてくるのです。洋服はゴミになつてしまふと聞いていたのですが、「洋服が欲しい」という地域もありましたし、「下着が欲しい」「靴が足りない」「下着よりも食べ物が欲しい」というところもありました。そうした情報収集して次の便に引き継いでいるのですが、「食べ物は足りているがタオルがない」「石鹼が欲しい」「ご飯のふりかけ」などなど、一週間もすると欲しい品物も変わつてきます。後手、後手とはなりましたが、今も継続してやつております。



私は16年前の阪神

活動を始めたという訳です。

菅原 先ほども言いましたように、親族が南三陸にい

ほどしてようやく連絡が取れました。話によれば、本家は流されなかつたが分家の方は流されてしまつたので、親族たちは本家に身を寄せ合つて本家へ向かいました。南三陸から気仙沼にかけての惨状を眺めながら「自分にできることは何だろう」と考えながら走り続けました。

一度東京に帰つてから、千葉で一緒に活動した仲間たちと共に保存のきく食料の調達から始めました。また、私の所属しているクラブや幼稚園にも呼びかけて寄付なども募り、4月に入つてから再び三陸町を目指しました。アリーナ（南三陸町最大の避難所）に行つてみると、たまたま遠縁に当たるものが救援物資を担当していましたので、そのを集め、現地に送りました。

それとは別に、弟が被災地にコンテナハウスを送るといふプロジェクトを立ち上げて活動していましたので、私もそれに同行して仙台・石巻・女川などの役所やボランティ

ア団体に行つて、コンテナハウスを送る段取りなどの打ち合わせもしました。仮設住宅を建てるといつても、建てられない場所がいっぱいあるのです。特に重機などが入れない所がたくさんあります。そういう所にも支援が行き届くようにと草の根活動を続けながら、次の支援に向けて資金集めのイベントの企画を進めているところです。

姉さんがいるから、その人に被災地の幼稚園や保育所を回つてもらって子どもたちを元気づけてはどうか」との話がありました。

4月26日には石巻のピノツキオ保育園園庭で、5月7日は仙台の楽天イーグルスの始球式、5月16日は石巻のみずほ幼稚園ホールといった具合で、活動の輪は広がっています。

安藤 因みに「声は東北を救う」の、支援・お手伝い頂ける協賛園を募集していますので、よろしくご協力お願いします。

安藤 はじめに申し上げたように、私たちの活動は焼き出しの支援が目的で出発しました。市長さんや知事さん、同士の連絡が結構密にとれていて「温かいものが食べたい」という要請があったというふうとでしたので、私たちのグループではそれを受けて、南三陸町の志津川高校に避難されている300～400人の方々への焼き出しのため、水やご飯、豚汁などを用意して車5台で出発しました。

私たちが行つた3月26日時点にはアリーナに支援本部が立ち上がりついていて、自衛隊やボランティアの人たちによつてすでに医療テントなどもたくさん出来上がつております。志津川高校はその反対方

向に位置しているのですが、そこでも自衛隊員の皆さんが高いいろいろな物資を運び入れていました。「水なんか持つて来なくてもよかつたのに」と言われましたが、「洗いものにでも使いましょう」ということになりました。

おにぎりは自衛隊の方から配ってくれたそうですが、「やはり焼き立ての温かいおにぎりは美味しい」と喜んできました。また、ペットを飼っている方もいらっしゃるのですが、避難所では飼うことはできませんし、トイレへの不自由さも大きなネックになっていました。

私も地元では震災時における救援・避難所の担当委員になつているのですから、今回の支援活動でペットやトイレスなども切実な問題だと痛感させられました。



幸い、向こうで茨城の消防隊の方と知り合いまして、そなの方が東松島という所の被害は大きいからということで、連れていってくれました。そこで家財の搬出とか市の保健センターの清掃などを手伝いました。

僕が作業した地域は結構広い所でしたが、近くに「のびる幼稚園」という幼稚園がありましたが、子どもは見かけませんでした。たまにいるのは地元の人たちのようでした。防風林があつて、その奥に幼稚園があり、更に奥まつた所には車や家が浸かっています。津波の惨状を目の当たりに見て、怖さを身体で感じま

もしも東京が大震災に襲われたら！

——先生方はそれぞれ貴重な体験をしてこられた訳ですが、今後、もし東京が直下型の大震災に襲われた場合、私たちはどう対応すればよいか、お考えを聞かせてください。

白井

そうですね。もし、今回災害が東京で起きたとすればおそらく手の施しようがないだろう、というのが正直な感想です。冗談抜きで、日本中の機能が麻痺してしまうのではないかでしょうか。とにかく自分の住む町のことは、よく知つておくことは必要だと思います。

また、これから幼稚園はリスクマネジメントといったものをしっかりと確立しておくことが大切だと思います。

當麻

いちばんの問題はトイレではないでしょうか。トイレがなければ、どこもこもアンモニア臭でどうにもならないことが予想されます。簡易トイレは絶対必要だと思います。この間NHKの番組でお医者さんが、まずチエツ

した。

クするのはトイレだと語つていました。1~2週間もすればウイルスがどんどん発生していくから要注意だとも言っていました。簡易トイレの用意はしておくべきだと思いま

安藤

やみくもに避難するのも考え方だと思います。

特に東京では高層ビルが林立していますから、高いビルが倒れてくれば、二次災害が拡大するのは目に見えています。都心での避難先は十分にかないようにすること。もちろん高い所には絶対に物を置かないようにすることが肝要です。

——ありがとうございました。

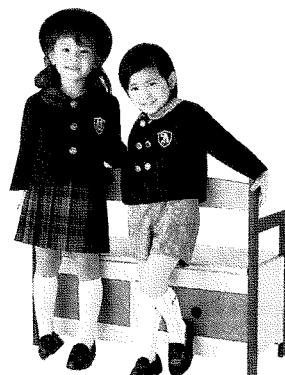
「パン！」と弾けて危険です。とにかく子どもの無事を守るには、倒壊物での被害に細心の注意を心掛けるのが一番だと思います。

ることながら、津波による被害がほとんどでした。阪神の場合は、9割が圧死でしたし、倒壊物によるケガなども多かったです。本棚とか食器棚などを固定しても、阪神の場合はダメでした。学校の固定された本棚のほとんどが倒れています。とにかく子どもの無事を守るには、倒壊物での被害に細心の注意を心掛けるのが一番だと思います。

菅原

今回は、地震もさ

ユニチカ・ニッケ・東レ 園児服・園帽・体育着



御一報次第カタログ進呈

ピーポップ印 園服・園帽・トレーニングウェア・カバン製造元
株式会社成増園服研究所

東京都板橋区大山金町43-1 TEL(03)3957-2176



（第1回）P連教養講座 平成23年5月17日／私学会館
 テーマ 幼稚園児の保護者に求められる人間関係力

【講師】徳田克己先生（筑波大学大学院教授）



早くも初夏の陽気の到来する中、当時は天気予報が雨傘の必要を呼び掛けるほどの不安定な気候ながら、会場は多くの保護者で満席となつた。

講師の徳田克己先生は子どもとの臨床心理学のほか、幼児教育学、人間関係学、こども支援学など多くの専門を持つ。また幼稚園教諭としての現場での経験もお持ちであることから、多くのエピソードや具体例を交えて、幼稚園児の保護者としての心構えのヒントの数々

を話された。人気アニメのキャラクターの研究も手掛ける先生は、そのアニメのシチュエーションなども交えて解説されたので、あつと言いう間に1時間半であつた。多岐にわたる話の中からいくつか紹介するところ…。

- （モンスターと呼ばれるような保護者の出現の時代背景にも触れながら、「わが子」しか見ていないが子中心の親は保育者を困らせると、保育者がのびのびと保育に当たれる環境こそが、ひいては「わが子」のためになるのだから、親は園を信頼し、保育者にはその信頼感を言葉で直接、また間接的に伝えることが効果的。
- 「喧嘩」は自分の意志を相手に伝え、相手の意志を知る人間関係

力を高めるもと。よい保育者は喧嘩させないのではなく、喧嘩を見守り、最後に理解し合つてより仲良くなれたねと確認させてくれる。

広報委員・藤原容子
 （けやき幼・武藏野市）

5月24日（火）、東京ガーデンパレスにて「東京私立幼稚園連合会（以下、都私幼連）及び「（社）東京都私立幼稚園教育修習会（以下、都私幼研）の総会が開催されました。

都私幼連の総会では、北條会長（みなど幼稚園）の挨拶の後、審議に入りました。

平成22年度事業報告では、総務委員会委員長の坂本洋先生（サムエル幼稚園）をはじめ各委員会の委員長より報告説明がなされ、収支決算報告においては、ほぼ予定通り執行されたとの報告がなされ、両議案とも承認され、採択されました。

その後引き続き、都私幼研の総会が開催され、北條理事長の議長のもと、平成22年度事業報告並びに収支決算について上程され、各事業についての報告説明、収支計算書の報告説明、また公益法人認定法に基づく公益認定申請のため、団体各称に「公益社団法人」を付し、東京都内におけるすべての子どもたちの幸せを目的とするなど、定款の変更が提案され、各議案とも全会一致で承認されました。

広報委員・遠藤忠
 （アライアンス幼・品川区）

「総会報告」（決算）

平成23年5月24日
 東京ガーデンパレス

（第1回）P連教養講座

平成23年5月17日／私学会館

（第1回）P連教養講座 平成23年5月17日／私学会館
 テーマ 幼稚園児の保護者に求められる人間関係力

【講師】徳田克己先生（筑波大学大学院教授）



早くも初夏の陽気の到来する中、当時は天気予報が雨傘の必要を呼び掛けるほどの不安定な気候ながら、会場は多くの保護者で満席となつた。

講師の徳田克己先生は子どもとの臨床心理学のほか、幼児教育学、人間関係学、こども支援学など多くの専門を持つ。また幼稚園教諭としての現場での経験もお持ちであることから、多くのエピソードや具体例を交えて、幼稚園児の保護者としての心構えのヒントの数々

を話された。人気アニメのキャラクターの研究も手掛ける先生は、そのアニメのシチュエーションなども交えて解説されたので、あつと言いう間に1時間半であつた。多岐にわたる話の中からいくつか紹介するところ…。

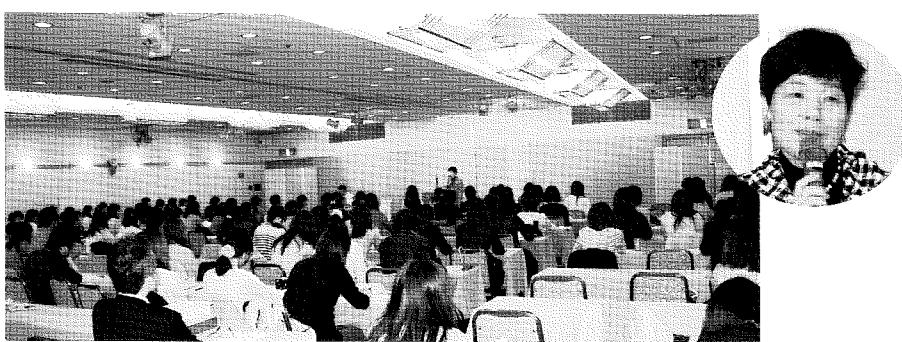
- （モンスターと呼ばれるような保護者の出現の時代背景にも触れながら、「わが子」しか見ていないが子中心の親は保育者を困らせると、保育者がのびのびと保育に当たれる環境こそが、ひいては「わが子」のためになるのだから、親は園を信頼し、保育者にはその信頼感を言葉で直接、また間接的に伝えることが効果的。
- 「喧嘩」は自分の意志を相手に伝え、相手の意志を知る人間関係

力を高めるもと。よい保育者は喧嘩させないのではなく、喧嘩を見守り、最後に理解し合つてより仲良くなれたねと確認させてくれる。

広報委員・遠藤忠
 （アライアンス幼・品川区）

「幼児のけが、ここがポイント」

【講師】井上 真理子 先生
(元中野区立谷戸小学校主幹教諭)



第1回の教諭研修会は、統計的にケガの多い6月を前に、幼児のケガについて井上真理子先生に登壇して頂きました。

小学校での養護教諭の経験をもとに、実例を交えながらお話をさせて頂き、「小学校でも幼稚園でも、集団で子どもがいれば、必ず事故やケガは起るものである」ということを強調されました。

内容は、事故やケガが起きてしまった場合の対応を中心にお話されました。

事故やケガが起きた場合は①直ぐに保護者に連絡するこ

と

②少し休ませるのであればそ

の旨もきちんと伝えること

③子どもと直接話をさせるこ

と(子どもの声を聞くと安心する)

の三つを挙げ、保護者の携帯電話でも勤務先でも遠慮せずに連絡することが大切とのことでし

た。そして、子どもの安全と安心が第一であり、保護者への連絡は誠意のある言葉と態度で対応し、その子どもに起こっている事実のみをしっかりと伝えること。「大丈夫だと思う」「たいしたことはない」といった個人の推測を交えた表現や感想を慎むことも強調されました。

その他、配布された資料のうち、「幼稚園における障害の事例」について、その対応策・予防策等を参加者全員で考え、また、幼稚園内での救急連絡体制について、や救急に対する日常のチェックポイントなど、職員間での共通理解の必要性を確認しました。

確かに、子どもの集団生活には事故やケガは付きものです。

しかし、起こってしまった後のフォローや再発防止策などを熟慮し、二度と同じ事故を起こさないために、事故に学び、園全体で安全点検の必要性を強く感じました。

広報委員 山崎 貴之

(青島幼・葛飾区)

推薦／全日本私立幼稚園連合会
編集／社団法人東京都私立幼稚園教育研修会

なつやすみ 2011
定価…各360円(税込)
●本誌/A4判変型20ページ



A 年少版



B 年中版



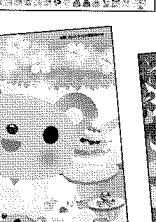
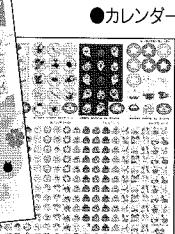
C 年長版

「なつのわくわくカレンダー」(三誌共通)

●カレンダー/B4判変型16ページ、カラーシール綴じ込み



毎日の生活習慣を
チェックできる
「健康観察シール」付き!



幼稚園探訪⑯

梨花幼稚園（稻城市）

自然と共に生きる原点

平成23年5月10日

敷地の一角落に12のクラスを擁した3階建ての園舎が昨年12月に完成したばかり。その隣では、さらに第2期工事が行なわれおり、広大な敷地の一角落に12のクラスを擁した3階建ての園舎が昨年12月に完成したばかり。その隣では、さらに第2期工事が行

廊下や昇降口など、きれいに打ち放しされたコンクリート壁には、いたるところ額縁が飾られていて、子どもたちの賑やかな笑い声が響く。

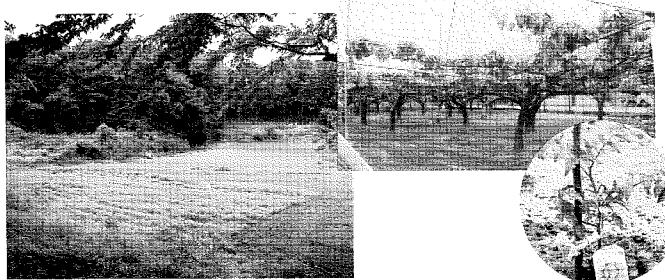
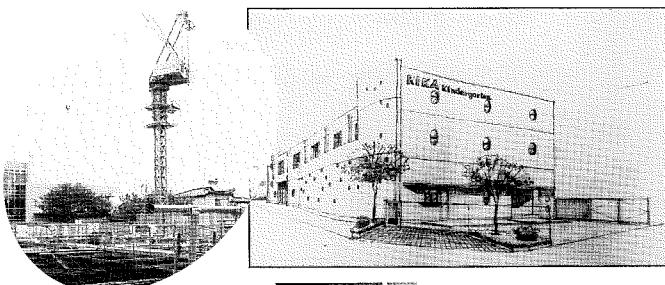
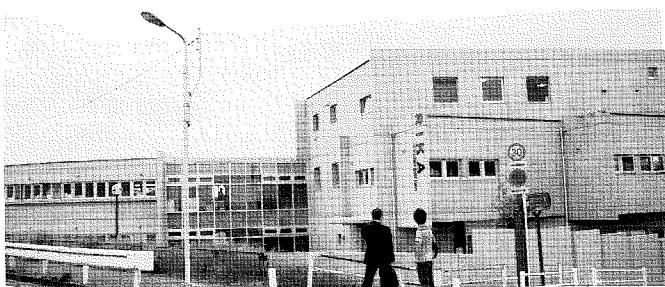
敷地の一角落に12のクラスを擁した3階建ての園舎が昨年12月に完成したばかり。その隣では、さらに第2期工事が行なわれおり、広大な敷地の一角落に12のクラスを擁した3階建ての園舎が昨年12月に完成したばかり。その隣では、さらに第2期工事が行

われおり、白い仮囲いの中からクレーンが天を摩するよう立っている。新たに立ち上がっていく建築音が、子どもたちの歓声と共に聞こえてくる。ここにはホールやキッチンルーム、四つの保育室が計画されているとのこと。今12月に完成予定。

廊下や昇降口など、きれいに打ち放しされたコンクリート壁には、いたるところ額縁が飾られていて、子どもたちの賑やかな笑い声が響く。

園舎の周囲には、梅・葡萄・柿など実のなる木や、榎・柏・プラタナスの木々が植えられており、11本の八重桜は今を盛りと咲き誇っていた。

広報副委員長・野上秀子
(久我山幼・杉並区)



さらには、幼稚園から車で数分の小高い山の中にある80坪ほどの畠にご案内頂いた。雑木林だった土地を園長先生自ら開墾され、今は立派な畠となつてトウモロコシやジャガイモが育ち始めていた。

自然と共に生きる原点を改めて思い起こさせて頂いたひと時であった。

自然と共に生きる原点を改めて思い起こさせて頂いたひと時であった。

園舎のクリーニングはおまかせください!!

Kawai Clean SAT
カワイクリーンサット

弊社は長年にわたり「健康教育」を企業理念として、**肝油ドロップ**を全国の園児の皆さんに、先生方のご理解のもと提供させて頂いております。その経験をいかし、より衛生的で健康的な保育環境を提供するクリーニング事業を手がけております。

先生方の手の届かない場所もおまかせください!

作業内容

- | | |
|-----------|-----------|
| ○床ワックスがけ | ○トイレ洗浄 |
| ○エアコン分解洗浄 | ○厨房 |
| ○砂場抗菌処理 | ○窓ガラス |
| ○カーペット | ○その他お掃除全般 |
- ※お掃除全般のご相談・お見積は無料です。

プロならではの手際よさと、技術とノウハウを駆使した安全で有効なサービスをぜひ実感してください。

肝油ドロップ 発売元
河合薬業株式会社
〒164-0001 東京都中野区中野6-3-5
TEL. 03-3365-1156 FAX. 03-3365-1180

都私幼連の動き

[5 月]

- 5／6 経営研究委員会
5／10 広報「座談会」
広報「幼稚園探訪」(梨花幼稚園)
5／11 ①教諭研修会（井上真理子）
教育研究委員会
5／17 P連教養講座（徳田克己）
5／20 学法協議会運営委員会
5／23 P連監査会
地区長会
5／24 都私幼連・(社)都私幼研決算総会
（東京ガーデンパレス）
5／25 就職支援セミナー（文京学院大学）
広報委員会
5／27 振興対策委員会（グランドビル市ヶ谷）

[今月]

1

季折々の花が咲く日本、
例年より早い梅雨がやつて
いた。体温調節がまだ上手
にできない子どもたちにとつ
ては、肌寒く感じたり蒸し
古く感じたりと変化が大き
い時期である。入園・進級
と一緒に慣れてきた頃であるか
ら、体調には十分注意して元
気な園生活が送れるよう見
守りたい◆新任の先生方も
園児のことや保護者の方の
ことなど、いろいろ経験さ
れて大変な時期。ぜひ乗り
越えて大きく成長してほし

みんなと繋がる "合言葉"

瑞穂のぞみ幼稚園(瑞穂町)
事務主任 田邊くみ

当園はこの4月1日、認定こども園の認可を受け
「きぼうのにわ こどもえん」として再出発しました。

7年前に、現園長が高齢ながら代表に就任し私は運営を補佐することになりました。木造の築60年の園舎は老朽化し、園児数も50人を割り、最初の課題は存続するのか、閉園するのかということでした。存続するのであれば安全面などで園舎の建て替えは必須でした。学校法人化、耐震診断、園舎の建て替え、そして認定こども園としての出発と、息をつく暇もなく7年が過ぎました。

子どもたちのことを思うと、3歳までは母親のもとで育まれ健やかに育つことができればそれが一番でしょう。しかし移り変わる時代の中で人の関わりは希薄になり、池田小事件後、母親は一時も子どもの手を離すことができません。家庭の様々な事情の中で幼稚園に入園させたいと思っても、取り敢えず保育園に入れないとやってゆけないという声も聞きました。

創立の理念にも従い、1、2歳のためにアットホームな時間を提供し、幼稚園にも入園していただくことができたらと思い保育園の併設に踏み切りました。

1、2歳児のいる園はなんだか一層ほのぼのとしています。

震災や、原発の問題、戦争や内乱の知らせを聞いたりすると、本当に子どもたちのためになる社会を創るためにには、私心なく考え、壁を越え、手をつなぎ合うことが必須だと思います。いろんな立場の方々が繋がりあうべきと明るい

将来が見えてくると思います。園では『理解し合う』『できることをする』というのが合言葉です。



卷之三

◆ 3月11日から3ヶ月が経とうとしている今、各地の復興への取り組みに励まれている。ボランティアに参加された先生方のご苦労と今後の備えはとても参考になった。しかし未だ、福島原発の先の見えない様々な問題はこれから日本を担う子どもたちへも大きな影響を与えていた。青空の下、安心して生活しのびのびと体を動かすことができるように一刻も早い解決を望む◆季節に向けて準備をして、四季折々の花が咲く日本、例年より早い梅雨がやってきた。体温調節がまだ上手にできない子どもたちにどうしては、肌寒く感じたり蒸し暑く感じたりと変化が大きい時期である。入園・進級し、慣れてきた頃であるから体調には十分注意して元気な園生活が送れるよう見守りたい◆新任の先生方も園児のことや保護者の方のことなど、いろいろ経験されて大変な時期。ぜひ乗り越えて大きく成長してほしい。